



# みどりの丘

成田市立吾妻中学校  
令和7年度第14号  
R8. 3. 12

《学校教育目標》

「次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身につけた生徒の育成」

## ～第48回卒業式挙行！～

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新しいステージで、Chance を捉え、何事にも Challenge し、さらに自分を Change して行ってください。さて、本年度も式場の関係で在校生は2年生のみの参列となりました。1年生にも卒業式の様子を感じ取ってもらうために、あらためて今日の卒業式での在校生送辞・卒業生答辞を紹介します。

○送辞 在校生代表 さん

頬を伝わる風もようやく和らぎ、日ごとに春の訪れを感じる季節となりました。希望を胸に、旅立ちの時を迎えられた三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

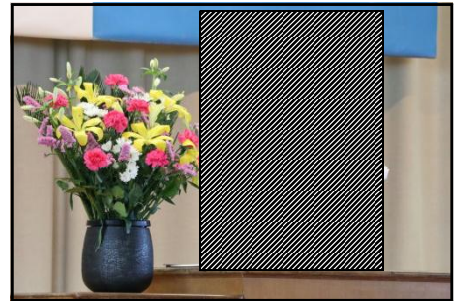
在校生一同、心よりお祝い申し上げます。常に前を向いて歩いていらっしやっただ先輩方。本日、その大きな背中を見送る日が来たことを、嬉しく思うと同時に、寂しさも感じております。

二年前の春、入学して間もない私たちに声をかけてくださいました。とても嬉しく、先輩方の優しさに触れ、中学生とはこんなにも大人なのだと感じ、私たちの憧れの存在となりました。部活動では、初めての事ばかりで不安だった私たちを温かく受け入れてくださいました。全力で走り、ボールを追い、汗を流し、目標に向かっていくその姿は、とても輝いて見えました。先輩方と共に練習に励んだ日々は、私たちにとってかけがえのない宝物です。

爽やかな風の吹く五月。全校の気持ちの高まりと共に、熱い日々を送った体育祭。気迫あふれる応援合戦に圧倒されました。それぞれの思いが交差した結果発表。お互いを称え合い、流した涙と、やりきった笑顔は忘れられません。秋晴れの頃。校舎からは美しい歌声が響き渡りました。合唱コンクールでは、どのクラスも熱い思いを込めて歌う姿から、固い絆が伝わりました。聴く人を魅了する先輩方の素晴らしい合唱にとっても感動したのが昨日のこのように思い出されます。

先輩方と過ごした二年間は、本当にあっという間でした。何事にも全力疾走している先輩方に少しでも近づきたくて、その背中を追いかけてきました。明日から、目の前にあった頼もしい背中が遠くなってしまうと思うと、心細く寂しい気持ちでいっぱいです。ですが、これからは先輩方から教わった姿勢や言葉を胸に刻み、よりよい吾妻中学校にしていきます。これから先輩方が進まれる道は、楽しいことばかりではないかもしれません。しかし、努力の根を張り、笑顔の葉を広げ、文武両道を目指し、勇往邁進して行ってください。精神一到して取り組めば、頂天に上り詰めることができるはずです。

最後になりますが、吾妻中全員の思いを伝えさせてください。今まで本当にありがとうございました。感謝の思いと先輩方のさらなるご活躍をお祈りして、お別れの言葉といたします。



## ○答辞 卒業生代表 さん

穏やかな日差しと風が春の訪れを感じさせる今日、私たちは卒業の日を迎えました。

3年前の入学式。初めて出会う仲間、校舎、先生方、新しい環境に不安と期待を抱いてこの吾妻中学校の校門をくぐりました。部活動や定期テストなど全てが初めてだった中学校生活。初めのうちはわからないことも多く、戸惑うこともありましたが、私たちは先生方や先輩方の助けのもと、それらに臨むとともに、お互いに支え合いながら成長してきました。1年後には、クラス替えが惜しくなるほど私たちの絆は強いものとなっていました。

2年生になると新1年生が入学し、私たちは先輩になりました。夏には3年生の先輩方が部活動を引退し、私たちが吾妻中学校を引っ張っていく立場となりました。最初はなかなかうまくいかず、「このままの自分でよいのだろうか」と不安を感じる日も多くありました。そんな時、私たちを支えてくれたのは、部活動の仲間や後輩たちでした。「自分を信じてくれる人がそばにいる。」前に進もうと思えたのは、周りの人の支えのおかげです。

中学校生活3度目の春。新たな後輩にかつての自分たちの姿を重ね、ついに最高学年だということを実感しました。

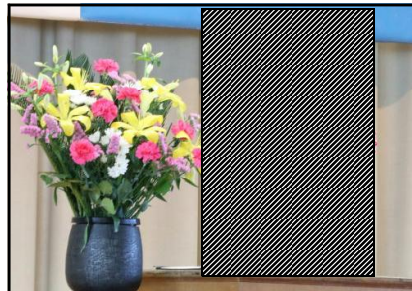
これまでの集大成となる大会やコンクールに臨んだ部活動。暑さにも寒さにも負けず、必死で練習に取り組んだ3年間。時には仲間とぶつかり合うこともありましたが、チームの勝利を願い、自分たちに出せる力の全てを出し尽くしました。

日差しよりもはるかに強く、熱い想いを胸に臨んだ中学校生活最後の体育祭。最後だという自覚が、そこに懸ける思いをより強いものにしました。一人一人が一生懸命声を出した応援合戦。総合優勝の組が決まった時に溢れ出した感情は、今までにないほどの大きなものでした。体育祭で掴んだ最高の宝物は、勝ち負けではなく仲間との絆でした。

待ちに待った修学旅行。何度も話し合っただけの決めた行き先を目指し、日が暮れるまで京都をまわった班別行動は、これまでのどんな旅よりも楽しく、心に残るものでした。初めて知った仲間の一面。旅館で食べたすき焼きの味や部屋で過ごした友との時間は忘れられません。3年間を通して私たちの絆はさらに深まりました。

そして、仲間と団結して勝利を目指した最後の合唱コンクール。全てのクラスが「最優秀賞」という目標に向かって自分たちだけの最高の合唱を作り上げました。結果発表の時に感じた嬉しさや悔しさ、私たちの思いと絆がどれほど強いものだったのかを物語っていました。

入学当初はぶかぶかだった制服も、今では小さく感じます。吾妻中学校での3年間の日々は、私たちを心身ともに大きく成長させてくれました。目標に向かって努力し続けた勉強や部活動、そしてクラスの仲間と過ごした何気ない日常。支えてくれている人がそばにいたからこそ、私たちは充実した日々を送ることができました。



在校生の皆さん。皆さんが行事や委員会活動、部活動で私たちを信じてついてきてくれたことは、とても大きな支えになりました。予餞会での頼もしい姿は、未来へ進む私たちの背中を押してくれました。これからも信じる気持ちを大切に仲間との絆を深め、吾妻中学校の伝統を引き継いでください。

3年生の皆さん。嬉しいときにはともに喜び、苦しい時には励ましてくれた皆さんがいたからこそ、失敗を恐れずに様々なことに挑戦したり、協力することの素晴らしさを知ることができました。皆さんに出会うことができ感謝しています。

そして、常に私たちのことを考えて指導して下さった先生方。人間関係や進路などに悩み、揺らいだ時も、先生方が一人ひとりと向き合い、一緒に考えて下さったことは本当に嬉しかったです。時には優しく、時には厳しく指導して下さった先生方の言葉の一つ一つが今の私たちを作っています。私たちは先生方から教わったことを胸に、未来へと歩んでいきます。

最後に、今日まで私たちを育ててくれたお父さん、お母さん。受験勉強や学校生活、全てのことに一生懸命でいられたのはどんな時でも支えてくれた家族がいたからです。時にはうまく気持ちを伝えられず、悲しい思いをさせてしまったこともありました。それでも私たちの味方であり続けてくれたことに心から感謝しています。これからの生活でも迷惑をかけてしまうことが多くあると思いますが、私たちを信じて成長を見守ってほしいです。

まもなく、私たち183名はこの吾妻中学校を卒業し、それぞれの道へ歩んでいきます。なにげない会話で盛り上がり、笑いあったりした、何にもかえ難い友人との時間。そこには言葉では表せないほどの大きな幸せがありました。ずっと続くものだと思っていた、ずっと続いてほしいと思っていたこの中学校生活も、もうすぐ終わりを迎えます。しかし、この3年間の数々の思い出が、築きあげた強い絆が、そして、多くの人の存在が、私たちを支えています。「きっと、私たちなら大丈夫。」夢への旅が今始まります。その旅の途中でどんなことがあっても自分と仲間を信じて、くじけずに、一生懸命歩いていくことを誓い、答辞とさせていただきます。

3年生の保護者の皆さま、3年間、本校の教育活動に対してご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。これからも地域に根ざした学校を目指してまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。